

## 危機管理室

### 地域津波防災計画について

**問** 津波避難対象地区16地区中現在4地区で地域津波防災計画策定に未着手ということだが、そろそろスピード感を持ってやるべきでは。

**答** 現在、アドバイザーやコンサルタントを派遣し、ワークショップ形式で消防局と危機管理室とが旗振り役となって、区役所や警察と連携し取り組んでいる。未着手4地区も、防コミの委員長等との協議は始めているが、地域全体の機運を高めていきたい。うち1地区は、旧居留地を含む都心地域で、既に事業者単位で防災マニュアル作成に着手しており、来街者対策として、行政が主体的に取り組むエリアと考えている。

**問** 計画を作るだけでなく、実際に地域の方の避難に役立つよう、緊急待避所など一人一人に伝わってなければいけない。ハザードマップなどどのように地域の中で活かしていくのか。

**答** 住民の方に被害想定の説明から始め、まち歩き、ワークショップ形式の会合を7～10回程度重ね、正しい知識や、あるいは、自分達の街のハザードなどを再確認し、自ら避難経路や避難ビルを選定いただく。計画策定後は、防災福祉コミュニティにより全戸に計画を配布し、その後各消防署とのコミュニケーション、防災教育や訓練に使われたり、息の長い取り組みを行っていかれることになる。



その他

- 広域一斉の防災訓練について
- 危機管理センターの活用について
- 神戸市災害受援計画について

市会ホームページで  
録画映像配信中!  
[http://shikai.city.kobe.lg.jp/  
db-search/](http://shikai.city.kobe.lg.jp/db-search/)

詳しい議事録は市会ホームページで▼  
<http://www.city.kobe.lg.jp/sikai/>

## 産業振興局

### アジア進出支援センターについて

**問** 先日、神戸市アジア進出支援センターが開所した。国内需要の停滞と円高で、アジア進出に対する企業の関心の高さは理解をするが、市内の生産拠点の撤退で雇用の減少、技術の流出の恐れもある。市内の産業、雇用を守り育てながら、海外展開支援をどのように進めるのか。

**答** 中小製造業の海外展開を支援する身近な相談窓口がほしいというニーズを受け、神戸に軸足を置き海外展開を図る中小製造業の支援を目的としセンターを開設した。市内への利益還元と海外進出に伴うリスクの軽減を念頭に置きながら、事業を展開していきたい。

**問** 市費を投じてセンターを運営していく以上は企業の配当、利子だけでなく市内で設備投資がなされ、税収の面でも神戸市に納税といった形で利益還元がなければならないが、その視点に欠けていないか。また、海外進出ありきのセンターではなく、相談の内容によっては、進出しない方向のアドバイスもありえるのか。

**答** 登録アドバイザー派遣の際、利益還元の方法や事例紹介を行い、市内に利益還元されるよう努める。また、企業が海外事業展開を行う必然性、売り先の確保ができていないかなど、客観的に事業計画をチェックして、実現可能性が低いなら、安易な進出を食い止めることが、市内中小製造業を守っていくことにもなるので、慎重にアドバイスする。



その他

- 企業誘致後のフォローについて
- 市内産業を空洞化させない中小企業の支援について
- 消費者ニーズを捉えての商店街・小売市場振興について

## 会派で県議会に要望活動

10月12日、自由民主党市会議員団全員で自民党兵庫県会議員団と担当部局を訪問し、以下の2点について要望を行いました。

### 神戸市内の特別支援学校の支援について

- ① 耐震化の必要な垂水養護学校・青陽西養護学校の移転、建て替え
- ② 県立芦屋特別支援学校への、東灘区の一部の児童生徒の受入れ
- ③ 知的障害高等部の県立特別支援学校の開設

**解説** 近年、神戸市内の特別支援学校では特に知的障害の児童生徒数が急増しており、過密化が顕著となってきています。県は学校教育法における特別支援学校の設置義務者として整備の義務があり、これまでも市当局から県への要望は毎年行なわれてきました。

### 県民緑税の運用等について

(森林部門)六甲山森林整備戦略に適した制度の拡充  
(まちなみ緑化事業)公共施設を対象にすること、  
申請手続きの簡素化など制度の拡充  
(六甲山事業)森林であると同時に都市緑地でもある六甲山に対する柔軟な運用

**解説** 平成18年から導入された「県民緑税」は、神戸市からの税収が7.3億円と全体の3分の1近いのですが、これまで市内の森林整備に多くは充てられてきていません。運用しだいでは六甲山の森林整備事業の財源として期待されます。



結果、地元の加田裕之県会議員をはじめ神戸選出の県会議員にも賛同をいただき、2点ともに次年度予算にむけて前進がある見込みとなりました。今回の件は県と市が連携して取り組むことで市民ニーズに応えながら二重行政を廃する、大きな成果と考えています。



## 平井まち子 神戸市会議員 自民党

□1976年神戸市長田区生まれ(36歳) □池田小、西代中、長田高校、神戸大学(文学部史学科)卒業 □神戸電子専門学校を修了、市内の広告代理店に勤務、タウン誌の制作などに携る。 □2005年10月の神戸市会補欠選挙にて10,436票をいただき初当選。 □2007年市会議員選挙で5,413票をいただき10票差で惜しくも次点。□2011年市会議員選挙で5,525票をいただき再選。

### 役職

- 自民党神戸市会議員団 政調会長
- 都市防災委員会 委員
- 大都市行財政に関する特別委員会 副委員長

### 地域活動

- 長田神社氏子会参与 ● 神戸金型工業会相談役
- 長田鮎商組合顧問 ● 池田自治会顧問
- 兵庫県盲導犬協会顧問 ● 神戸あじさいライオンズクラブ会員 など

ご相談・お問い合わせ先

### 自由民主党神戸市会議員団

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 市役所1号館28階  
電話 078-322-5846 Fax.078-322-6164

携帯でご覧になる方は  
こちらから!

### 長田区支部 平井まち子事務所

〒653-0843 神戸市長田区御屋敷通6-1-11  
電話&Fax. 078-643-0647  
(月～金 9時～17時)  
eメール machiko.h@earth.ocn.ne.jp

<http://www.55machiko.jp>



平井まち子 検索

## 神戸市総合コールセンター

神戸市の総合的な窓口です。  
ぜひご利用下さい。

年中無休受付中  
(8:00～21:00)

☎078-333-3330